

アメリカはアルカーイダと共働している——元米外交官

【訳者注】アメリカは、戦っているように見せかけているテロリストと、協力して戦争している——この事実は今では知れ渡っている。これはアメリカが、特に凶悪な——ロシアが停戦協定の保護から外せと主張したが国連が拒否し、先日、ザラ村で虐殺を行った——“アフラル・アル・シャム”の頭目を、昨年末、アメリカに招いて作戦の相談をしたらしいという、アメリカにとっては知られては困る話のようである。ただワシントンは、RT 記者がアメリカのために心配するほど、気にもしていないようである。5/14「国連のテロリスト・ブラックリストから除外された軍団によるシリアの虐殺」参照。

RT & Information Clearing House

May 24, 2016



“アフラル・アル・シャム” イスラム戦士たち

アルカーイダによる、アメリカへの9・11 攻撃の後、アメリカは、リビア、ボスニア、 Kosovo でやってきたように、このテロリスト集団とずっと協力して戦っている、と元米外交官 Jim Jatra は言っている。

シリアの反政府集団でアルカーイダと繋がっている、アフラル・アル・シャムの、ある幹部が、昨年末、アメリカを訪問したと、あるアメリカのニュース・ウェブサイトが報じている。

<http://www.mcclatchydc.com/news/nation-world/national/national-security/article78962527.html>

このシリアの戦闘集団のリーダーLabib al Nahhas は、自分のことを「アフラル・アル・シャムの外交政策関係チーフ」と称しているが、この人物が12月に、短期間、アメリカの首都にいたと言われている。

<https://syria.liveuamap.com/en/2016/22-may-ahrar-alshams-chief-of-foreign-political-relations>

RT: アフラル・アル・シャムの重要人物がアメリカを訪問したことを、あなたはどう解釈していますか？ 国務省がこのことを尋ねられたときの彼らの反応について、あなたはどのように考えていますか？ 彼らは全く逃げ腰のようだったと思いますか？

Jim Jatras: 明らかに申し合わせたものです。そして正直に言って、このような人物がアメリカへ来られたことが、信じられないことです。何と——ビザの規制がないかのようだ。戦闘地帯からこの国に、誰が入ってきても平気ということか？ そして彼らは、政府の役人たちがこの訪問のことを知らなかったと言え、我々が信ずると思っているのか？ マーク・トナー（報道官）は、アフラル・アル・シャム団のこの人物は、ここではどんな面談もしていないと言っていたが、これは国務省のことです。私の推測では、他の場所でどこか別の部局と、会談したのだと思います。

RT: このアメリカ訪問の背後に何があったと思いますか？

JJ: 私のカンでは、これは作戦的な会談です。ロシアとシリアの政府が、結局最後には屈服して、アサドが退くことに合意しない場合の、いわゆる“プラン B”について、雑音が増えています。こうした脅迫は、サウジとトルコからのものですが、率直に言えば、彼らはオバマ政府に支援されています。これは、もし想定された成り行きから、我々の要求するものが思い通り得られない場合、ある種の強硬な行動によって、テロリスト軍の勝利を確実にしてやるというものです。そしてこれは、私にはとても気がかりです。彼らは、これらのテロリスト集団への支援を一段と増加するでしょう。そして私の考えでは、アフラル・アル・シャムは、アルカーイダやアルヌスラ・フロントとの強い結びつきや、今回のザラ村の虐殺への彼らの参加にもかかわらず、この場合、カギ的な構成要素の一つなのです。

RT: どうしてアメリカの高官たちは、アルカーイダと繋がっているこの集団と共働しながら、彼らはテロリストではないと主張するのですか？ 彼らは、アメリカが立場を撤回せざるをえなくなると考えているのか、それとも、どこまでも頑張るつもりでしょうか？

JJ: 私は、どこまでも頑張るつもりだと思います。これは、ワシントンでは誰でも知っていることです。彼らは、アフラル・アル・シャムも、他のいわゆる穏健派も、アルヌスラやアルカーイダに強く繋がっていることを、とてもよく知っています。そして彼らは、テロリストとの関係を断つつもりはないのです。なぜなら、アルカーイダとの協力なしには——結局そこへ行きつくわけですが——シリアでの選択の余地はないと知っているのです。彼らは、アサドが権力に留まるだろう、そして、テロリストは敗北するよりほかない、という事実を受け入れねばならないと知っています。しかし、彼らはそれを受け入れられないのです。

RT: アフラル・アル・シャムとアルカーイダの繋がりを示す証拠がもっとあれば、アメリカは、それを否定することがもっと難しくなるのではありませんか？ 彼らはどの時点かで、考え直さなければならなくなるのでは？

JJ: いいえ、それは全く考えられません。彼らは繋がりがあることをとてもよく知っています。彼らは、ほとんどのアメリカ人が、全く関心をもっていないことも知っています。そして問題はそこです——アルカーイダによる9・11攻撃から、これだけ長い年月が過ぎた今も、我々はアルカーイダと協力してやっているのです——リビアのときも、ボスニアのときも、コソボのときも同じでした。彼らは全く気にしていないのです。なぜなら、ほとんどのアメリカ人が気にしている様子がないからです。

<http://neilclark66.blogspot.ru/2011/08/us-al-qaeda-alliance-bosnia-kosovo-and.html>

RT: すると、平和会談の方はどうなりますか？ なぜなら、ロシアもアサドも気にしているのは明らかですから。

JJ: 私は楽観していません。楽観的にはなれません。もしアメリカとオバマ政権が理性的な政策をもっているなら、我々は応援もするでしょうし、政策を考え直しもするでしょう。しかし、証拠はまったく正反対です。時たまだれかが、「ワシントンとモスクワの間には、何か取引があるようだ」などと言います。しかし、すべての証拠から私に考えられるのは、彼らはいまだに、リヤドから、アンカラから、湾岸諸国から、前進の命令を受けているということです。そして彼らはいまだに、何とかして、テロリストに勝たせてやることを必死に考えています。

(ジム・ジャトラスは、元米外交官で、上院共和党リーダーシップへの対外政策アドバイザー。自ら公開する [TheJIM!gram](#) で、財政および対外政策問題、またアメリカの政治についてコメントしている。ツイート先は [@JimJatras](#))

<http://www.repealfatca.com/index.asp?idmenu=3&title=TheJIMgram>

<https://twitter.com/JimJatras>